

一般公開シンポジウム

# 実践としての文化人類学

国立民族学博物館では、  
世界の諸民族の文化と社会に関する  
先端的な研究を行なっています。

今回の一般公開シンポジウムでは、  
文化人類学がいかに社会的に  
活用しうるかについて国際開発協力と  
防災を事例として検討します。

国際開発協力と  
防災への応用

日時 **2006.10/21** (土)  
PM.1:00~PM.5:50

場所 **グランキューブ大阪**  
(大阪国際会議場)  
大阪府北区中之島5-3-51  
会議室1004-1005

参加料：**無料** 定員：**200名**

主催 **国立民族学博物館**

# 実践としての文化人類学

国際開発協力と防災への応用

## プログラム

1:00~1:10 開会挨拶 松園万亀雄 (民博)

### 第1部 開発援助と文化人類学・社会学

司会 岸上 伸啓 (民博)

1:10~1:55 「開発援助：なぜ善意は善行を保証しないのか」  
／佐藤 寛 (アジ研・民博)

2:00~2:45 「文化人類学は医療協力に必要か？」  
／白川 千尋 (民博)

2:45~3:00 休憩

### 第2部 防災と文化人類学・社会学

司会 岸上 伸啓 (民博)

3:00~3:45 「住宅の耐震問題とエスノグラフィー」  
／田中 聡 (富士常葉大学)

3:50~4:35 「災害人類学から防災へ」  
／林 勲男 (民博)

4:35~4:50 休憩

### 第3部 総合討論

司会 渡辺 正幸 (国際社会開発協力研究所)

4:50~5:50 「総合討論」

パネリスト (50音順) 佐藤 寛 (アジ研・民博)

白川 千尋 (民博)

田中 聡 (富士常葉大学)

林 勲男 (民博)

葉山アツコ (久留米大学)

5:50 閉会

## 講演者・パネリスト



佐藤 寛 (アジア経済研究所・専任調査役)

援助研究＝日本の開発援助プロジェクトを世界各地にお邪魔して、それぞれの社会でプロジェクトがどのように受け止められているのか、援助する側とされる側の間にどのような思惑の「ズレ」があるのかを研究している。国際開発学会常任理事、民博客員教授。



白川 千尋 (国立民族学博物館・助教授)

青年海外協力隊員として南太平洋のヴァヌアツで活動したことを機に、当地の人々の伝統文化などに関する文化人類学的研究に携わる。そのかわり、JICAやWHOの専門家としてサモア、フィジー、ミャンマーで感染症の対策プロジェクトにもかかわってきた。日本文化人類学会員。



田中 聡 (富士常葉大学 助教授)

阪神・淡路大震災、新潟県中越地震などにおける災害対応について、エスノグラフィーの手法を適用した研究を実施。また、同様の手法でフィリピンの住宅の耐震問題についてフィールドワークを行っている。地域安全学会理事、NPO・防災デザイン研究会幹事。



林 勲男 (国立民族学博物館 助教授)

日本やオセアニアにおいて、自然災害被災者の生活再建や、巨大災害が予測されている地域の防災活動などを調査し、災害と社会・文化の関係について研究している。NPO・防災デザイン研究会理事。京都大学防災研究所客員助教授。日本学術会議特任連携会員。



渡辺 正幸 (有限会社 国際社会開発協力研究所 代表取締役社長)

第2次世界大戦敗北による絶対弱者の立場を中国北部で経験。建設省・インドネシア公共事業省・国連・JICAで防災・災害復旧・防災力増大プロジェクトに工学技術の立場で従事。工学が全てではないことに開眼して社会学・人類学的手法を勉強中。民博共同研究員。



葉山アツコ (久留米大学 助教授)

熱帯林消失が環境問題と指摘され始めてから、自分の目と足で現場を知りたいと思ったことが東南アジアの森林問題に関わるきっかけ。フィリピンの裸げ山で、炎天下、黙々と畑を耕す人々の姿に接して以来、彼らの考え方、生活を理解したいとの思いから同国に通うようになる。

## 参加要領等

### 申し込み

「10月21日一般公開シンポジウム参加希望」と明記の上、以下事項を添えて、ハガキ、FAX、メールにてお申し込み下さい。2名様以上のお申し込みの場合は、それぞれ記入事項を明記して下さい。

①郵便番号②住所③氏名④連絡先電話番号⑤メールアドレス又はFAX番号⑥所属 (任意)

10月上旬に参加証をお送りする予定です。ご持参の上、ご来場下さい。

※応募者が多数の場合、ご参加頂けない場合もあります。

### 宛先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1

国立民族学博物館 研究協力課 国際協力係

FAX: 06-6878-8479

E-mail: sinpo@idc.minpaku.ac.jp

### 問い合わせ先

国立民族学博物館 研究協力課 国際協力係

TEL: 06-6878-8235



■ JR大阪環状線「福島駅」 ■ JR東西線「新福島駅」(2番出口) ■ 阪神電鉄「福島駅」  
■ 大阪市営地下鉄(中央線・千日前線)「阿波座」(中央線1番出口・千日前線9番出口  
(四つ橋線)「肥後橋」(3番出口)

※上記各駅よりそれぞれ徒歩約10分 ※車での来場はご遠慮ください。